

## 令和4年度事業計画

- 1 農林水産省の助成を得て、国産シルクの新たな市場開拓を図るため、消費者の関心の高いオーガニックシルクについて、規格・基準の策定と実証を行うとともに、養蚕農家等への普及活動を行う。また、消費者等へシルクの良さを科学的エビデンスに基づいて分かりやすく情報提供するための手法についても検討を行う。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間開催できなかった会員相互の交流の場としてネットワーク交流会についても開催に努める。

- 2 各分科会においては、次の取組みを行う。

- (1) PR分科会

農水省と協力して若手養蚕農家と情報交換会を開催し、若手養蚕農家の活動PR・シルク関連商品の開発支援を行う。開発した商品については、クラウドファンディングにより資金を集め、全国の若手養蚕農家の活動PRに努める。HPの更新作業も継続して行い、情報発信に務める。

- (2) 蚕糸分科会

農水省と協力して若手養蚕農家の情報交換会を開催し、若手養蚕農家のネットワーク化を進める。また、国産シルクの新たな需要開拓を目指す事業者とそのような取り組みに関心のある意欲ある養蚕農家とのマッチングを図るための意欲ある養蚕農家のリスト化を引き続き進める。

さらに、蚕種業者や稚蚕飼育関係者等養蚕関係事業者と情報交換を行い、国内養蚕業の維持・継続にための方策を検討する。

蚕糸関係の各地の博物館においては、子供たちが蚕を飼育し、蚕に親しむ取り組みを行なわれているが、これらの博物館の取り組みの連携を進めていく。

- (3) 新機能シルク分科会

「超極細・高染色性生糸」のビジネス化に向け、飼育マニュアルの改訂を行ってSOP化を進める。また、超極細・高染色性繭糸生産系統などの遺伝子組換え品種の飼育範囲を稚蚕に広げるための第一種使用規定の作成と承認申請を行う。

- (4) 繊維分科会

昨年度農水省の助成を得て行った超極細・高染色性生糸の特性を活かした絹製品のビジネス化を進める為、引き続き製品開発・改良に取り組む。また各地の国産生糸を使用した横編み用ウオッシュャブルシルク糸の開発・改良販売に取り組む。

(5) 新用途分科会

他学会との協賛等による講演会や交流会の実施を通じて、会員間の交流を進める。

また、新用途分科会の会員間での共同研究を締結し、シルクの用途拡大に努める。